

## 日越ビジネスローヤーによるセミナー挨拶

(令和2年12月11日(金) 13:00～: モーベンピックホテル)

- ドー・ゴック・ティン・ベトナム弁護士連合会会長,
- ディン・アイン・トゥエット・ベトナムビジネスローヤーズクラブ代表
- 牧山嘉道(まきやま・よしみち) 日弁連国際交流委員会委員長
- グエン・カイン・ゴック司法省副大臣
- ドー・ニャット・ホアン計画投資省外国投資庁長官
- その他ご列席の皆様

●日本政府を代表して、「投資・ビジネス支援及び法サービス改善のための日越ビジネスローヤーの協力促進」セミナーの開催にお祝いを申し上げますとともに、一言ご挨拶をさせていただきます。

### 【菅総理訪越】

- 本年10月、日本の菅総理は、就任後初めての外国訪問先として、ベトナムを訪問しました。
- 菅総理は、フック首相との日越首脳会議において、「無限の可能性を秘める日ベトナム関係を、一層発展させたい」と発言しました。
- 総理がベトナムを最初の訪問先として選んだこと、そしてこの菅総理からの言葉から、日本がいかにベトナムとの関係を重視しているか、おわかりいただけるかと思えます。

### 【投資】

- ベトナムは、コロナ禍の中においても、経済成長を続け、ASEANの中でも、シンガポールやマレーシアを抜きつつあります。
- 多くの日本企業もサプライチェーンの見直しにおいて、ベトナムの高いポテンシャルに関心を持っています。
- 日系企業が投資先を選ぶ際に重視することとして、投資環境の整備が挙げられます。
- 具体的には、まず水・電気などのインフラが整っていること、生産する上での原材料が手に入りやすいことなどに加えて、投資に関する法令や行政手続が整備されていることがその重要な要素です。

#### 【法整備支援】

- 日本政府は、1994年から25年以上にわたり、ベトナムの法整備に対する支援活動を行ってきました。
- 両国法務・司法関係者の尽力により、ベトナムでは民法、民事訴訟法をはじめとする多くの制定法が整備され、日系企業が安心して投資できる前提となる法制度が整ってまいりました。
- その一方で、依然として多くの日本企業がベトナムに投資する上での課題として法制度・運用を挙げているほか、日系企業が当事者となる紛争も後を絶ちません。

#### 【本セミナーの意義】

- こうした状況から、ベトナムに投資する日系企業からは、質の高い法的サービスの提供が求められています。

●本日のセミナーは、日越ビジネスローヤー間の交流・協力関係の構築を目的として、両国ビジネスローヤーによるベトナム法についての議論や、対ベトナム投資に当たって日本側が求める法的サービスについての発表が行われると聞いております。

●これは、日系企業による対ベトナム投資を促進させ、日越間の関係強化を図る上で大変、貴重な機会です。本日のセミナーが参加者の皆様にとって実りあるものとなることを切に願っております。

#### 【結び】

●最後に、皆様の御健勝、ベトナム弁護士連合会の一層の御活躍、日越関係の更なる関係強化を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。（了）